

第1回昭和橋景観検討委員会

住田町

岩手県沿岸広域振興局土木部

大船渡土木センター住田整備事務所

内容

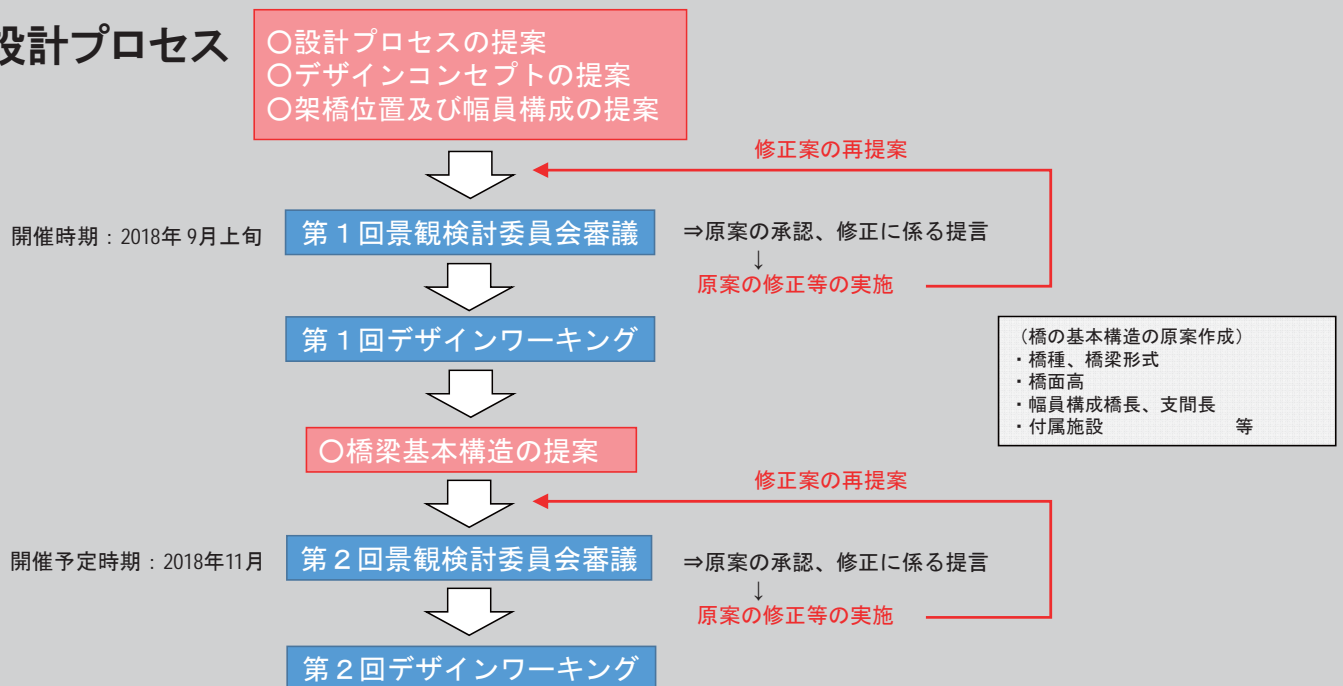
1. 委員会の設立、規約等について
2. 昭和橋の設計プロセスとスケジュール
3. デザインコンセプトの提案
 - i. 地域の概況
 - ii. 上位・関連計画の整理
 - iii. 歴史の整理
 - iv. 周辺景観の整理
 - v. 視点場の整理
 - vi. 検討対象および条件
 - vii. アンケート結果のまとめ
 - viii. デザインコンセプトの提案
4. 架橋位置と幅員構成

1. 委員会の設立、規約等について

- 委員会の設立
- 委員会の規約
- 委員長の選出

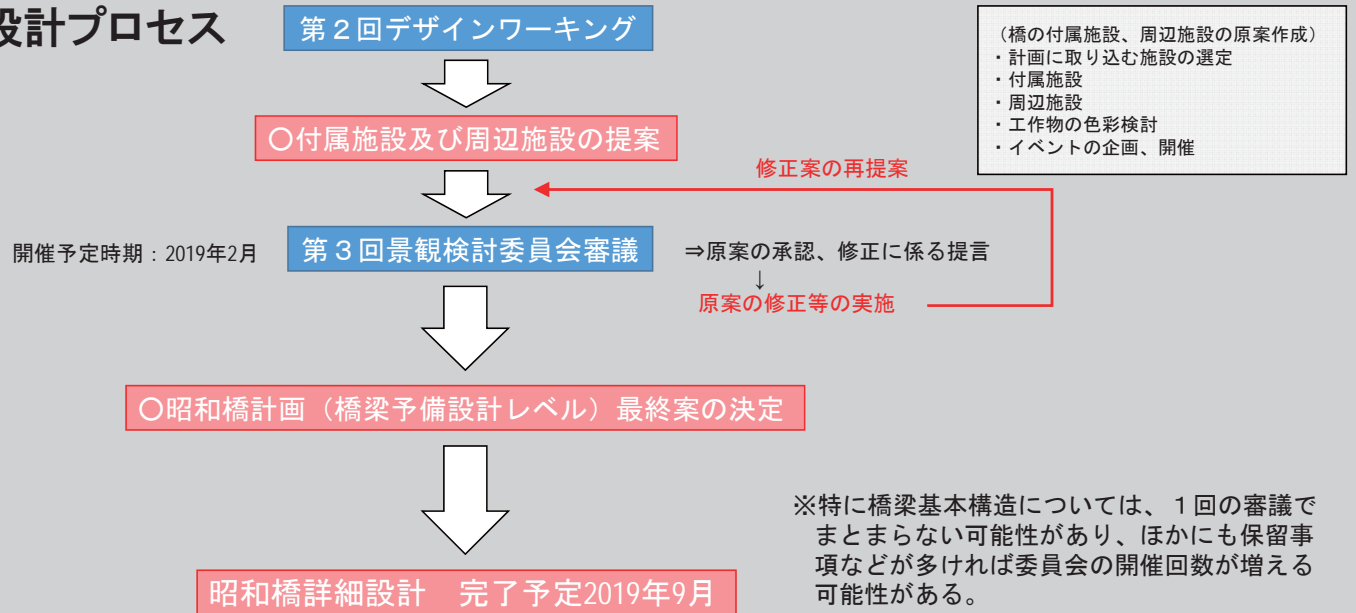
2. 昭和橋の設計プロセスとスケジュール

設計プロセス



2. 昭和橋の設計プロセスとスケジュール

設計プロセス



4

3. デザインコンセプトの提案

- i. 地域の概況
- ii. 上位・関連計画
- iii. 歴史
- iv. 周辺景観（景観としての周辺の整理）
- v. 視点場
- vi. 検討対象および条件
- vii. アンケート結果概要
- viii. デザインコンセプトの提案

5

i. 地域の概況

- 「**森林の町**」住田町、地勢から見ても「**山林と原野の地域**」の気仙地方に位置する。
- 気候は「**暖流黒潮の影響**」を受けて、温暖で年平均気温13度前後、**夏は比較的涼しく、冬は格別に寒くはない**。
- 住田町の町章、町の花、町の鳥、町の木

あつもりそう

やまどり

すぎ



6

ii. 上位・関連計画の整理

【参照した上位・関連計画】

- 岩手県景観計画
 - 岩手県公共事業等景観形成指針
 - 住田町総合戦略
 - 住田町中心地域活性化基本計画
- 「そこに住み、まち並みを守り育てていく人々の暮らしが見える景観」
 - 「構造、形態、意匠、色彩等の工夫から、**自然景観、周辺の歴史的景観との調和に配慮し、造形的な美しさの創出に努める**」
 - 「**歴史的な町並みという空間的な資源**を手がかりに、地域社会の活性化、再生を図る」

7

ii. 上位・関連計画の整理

「住田町中心地域活性化基本計画」より

- 住民交流拠点施設(まちや世田米駅)の直近にあり、世田米駅地区と町役場等のある川向地区とを結ぶ主要な動線
- 蔵並み地区、気仙川親水公園(構想)等、住田町の良好な景観資源に囲まれた場所



8

iii. 歴史の整理

- 盛街道(三陸沿岸地方と内陸部の交易に大きな役割を果たした街道)と高田街道(南部領遠野との交易交通上重要な街道)の**主要な宿駅**として発展。
- 世田米では過去に多くの火災で被害があり、そういった経験から火災が起きても土蔵が類焼するのを避けるため、街道沿いに町家を並べ、**各家の敷地後方に土蔵**を建てた。

→現在の世田米のまちなみ、蔵並み

- 産金 → 鉄 → セメントと変遷。
- 養蚕、林業(気仙大工)、農業は上記の工業と平行して継続的に発展。

1964(昭和39)年川鉄鉱業操業開始



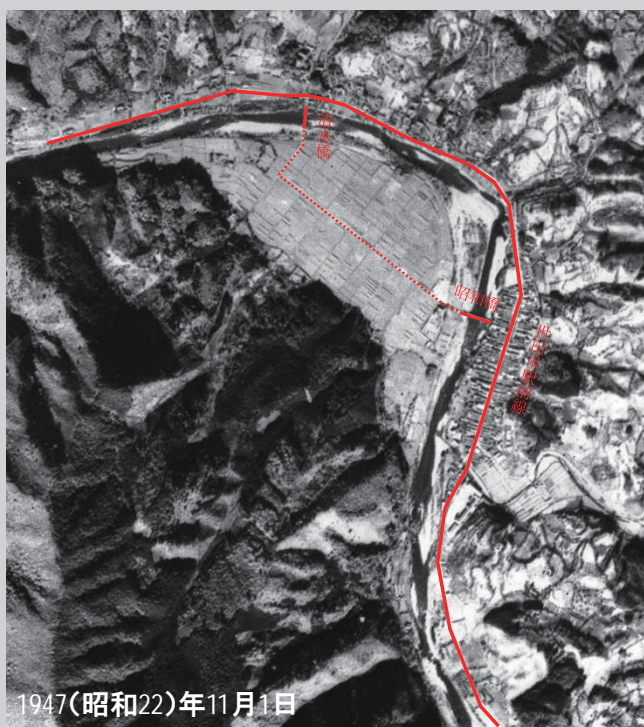
9

iii. 歴史の整理



世田米驛繪圖は、1875(明治8)年頃の地割を描いたもので、**北側町の入口がカギ型に曲がっていること、通りの中央に水路が描かれた貴重な資料**である。なお1966(昭和41)年調査の世田米駅の公図を同じ縮尺で比較すると、**街道筋沿いの間口幅はかなり正確に一致し、現在でも当時とほぼ変わらぬ地割りが残っている**ことがわかる。

iii. 歴史の整理



1947(昭和22)年11月1日



2013(平成25)年10月18日

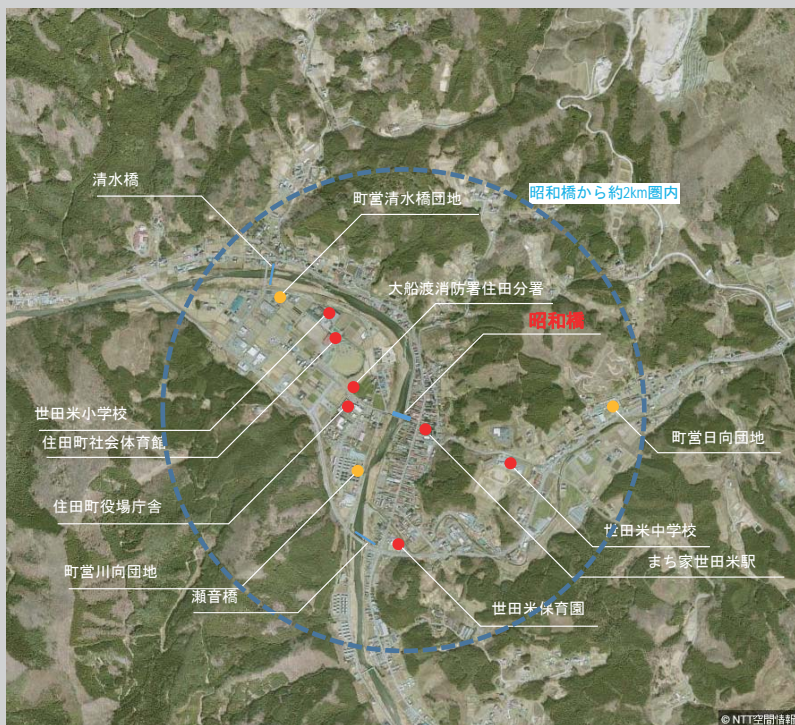
iii. 歴史の整理

- 昭和8年に架橋された昭和橋

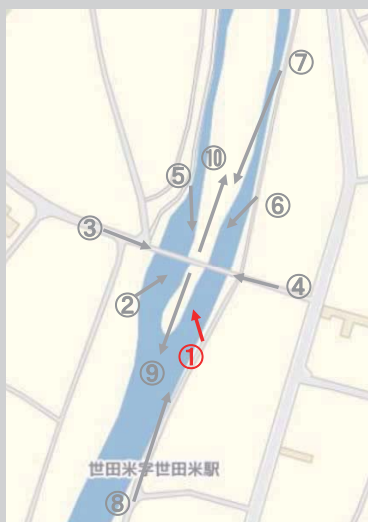


- 昭和20年に米軍爆撃機によって空けられた高欄の穴

iv. 周辺景観の整理

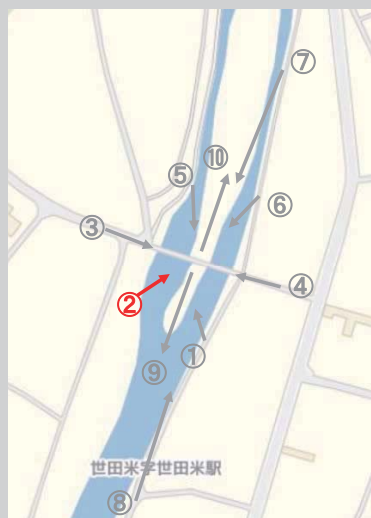


v. 視点場の整理



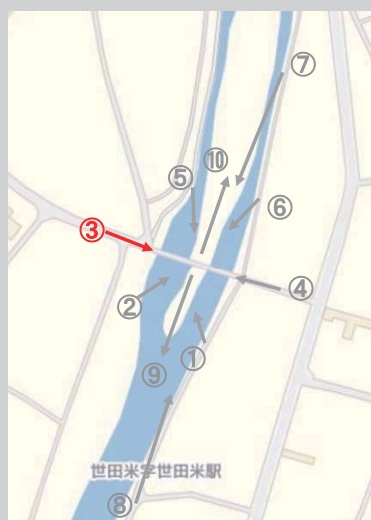
- 下流左岸側から対岸には桜、その奥は野球場、森岳等の山々の緑が広がる。
→ 昭和橋を代表する視点場の1つであり、周辺の山・川・桜等の自然景観との調和に留意する。

v. 視点場の整理



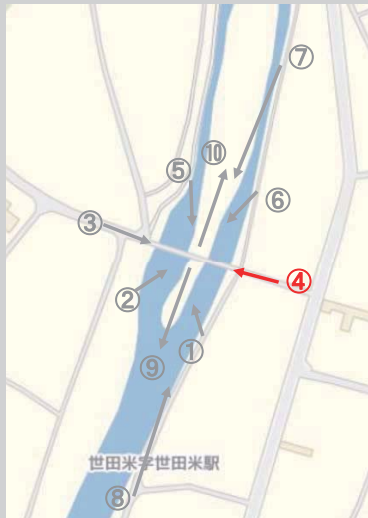
- 下流右岸側から対岸に、世田米の蔵並みを背景とする。
- 重要な景観資源である蔵並みへの眺望を阻害しないよう配慮する。

v. 視点場の整理



- 役場前線(住田町役場方面)から橋を利用する人が橋上を見る。世田米の蔵や住宅が背景。
- 重要な景観資源である蔵並みへの眺望を阻害しないよう配慮する。
- 世田米駅と川向地区とをつなぐ結節点としての空間づくりを意識する。

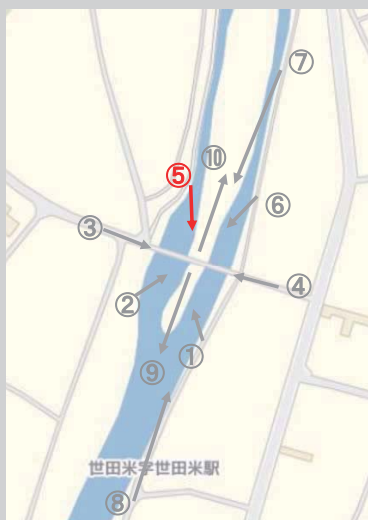
v. 視点場の整理



- 役場前線(住田町役場方面)から橋を利用する人が橋上を見る。気仙川沿いの風景が開ける予感を与える。
- 町並み・蔵並みから河川の開けた風景へと移り変わるシーン。開放的な空間を予感させる橋上デザインに配慮する。
- 世田米駅と川向地区とをつなぐ結節点としての空間づくりを意識する。

18

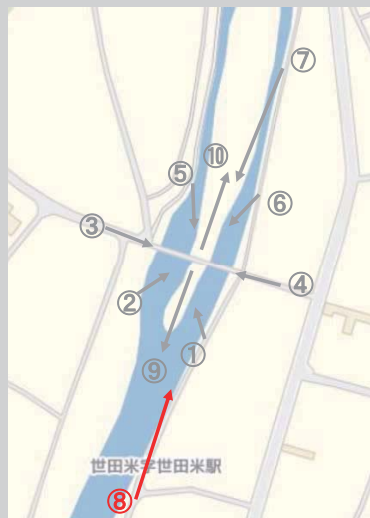
v. 視点場の整理



- 上流右岸側から手前には蔵や住宅が建ち並び、左奥には天照御祖神社のある丘が、右奥には犬頭山が背景に見える。
- 気仙川を渡る昭和橋の水平ライン、背景となる歴史、自然景観が見える視点場。
- 蔵並み、山、気仙川という住田町を象徴する各景観資源と一体的な景観を構成することに配慮する。

19

v. 視点場の整理



- 下流左岸側から東峰山や上流右岸側の河川敷を背景に架橋位置を望む。
→ 葎並み、山、気仙川という住田町を象徴する各景観資源と一体的な景観を構成することに配慮する。

20

vi. 検討対象および条件

昭和橋架け替えが必要な理由

- **基準径間長の不足**

基準径間長26.3mに対し、現在の径間長は9.1mで上流から流れてくる木などが引っ掛かり、川の水をせき止め、浸水被害を及ぼす恐れがある。

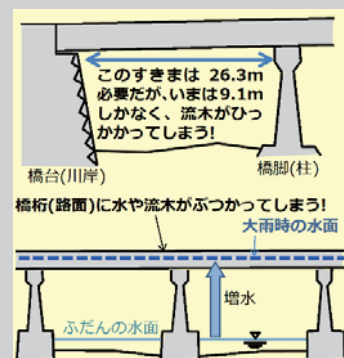
- **橋桁の余裕高さの不足**

流木などが引っ掛かり、川の水をせき止め、浸水被害を及ぼす恐れがある。

- **橋梁点検の結果**

橋梁の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態である。

- **河川改修工事に伴い、堤防高さを現状より上げる必要がある**



21

vii. アンケート結果のまとめ

• 昭和橋や周辺の良いところ

住田町の重要な観光資源である**気仙川と蔵**の風景、そして川向側の橋詰にある**桜**に昭和橋周辺の**きれいな原風景**を感じている人が多い。キーワードとしては、気仙川、蔵、桜、河川敷、鮎、花火など。

• 昭和橋の思い出

周辺住民の方々の普段の生活の中の思い出が多く、**橋から見た蔵並み、花火、魚釣り**という橋と気仙川が作るロケーションの思い出が多く寄せられた。キーワードとしては、気仙川、蔵並み、魚釣り、花火、丈夫な橋など。

• 昭和橋を取り巻く空間の将来

車が安全に通れる道路、人が安心して歩ける歩道を求める声が多い。

22

viii. デザインコンセプトの提案

- i. 地域の概況
- ii. 上位・関連計画
自然景観、歴史的景観との調和
- iii. 歴史
蔵並み、気仙川、車動線の変遷
- iv. 周辺景観
- v. 視点場
自然景観、歴史的景観との調和
まちを俯瞰できる新たな中心として
- vi. 検討対象および条件
- vii. アンケート結果概要
昭和橋のいい思い出を少しでも残してほしい
車、人が安全で、安心してわたれる橋にしてほしい



地域の山々、気仙川などの自然が豊か。その自然を保全する。



蔵並をはじめとした歴史的なもの、昭和橋自体が85年に及ぶ地域と育んだ歴史。その歴史を受け継ぐ。



まちの主要な動線として、車、歩行者の利用環境、安全、安心に配慮する。



地域に根づく現在の昭和橋の良いイメージを守る。

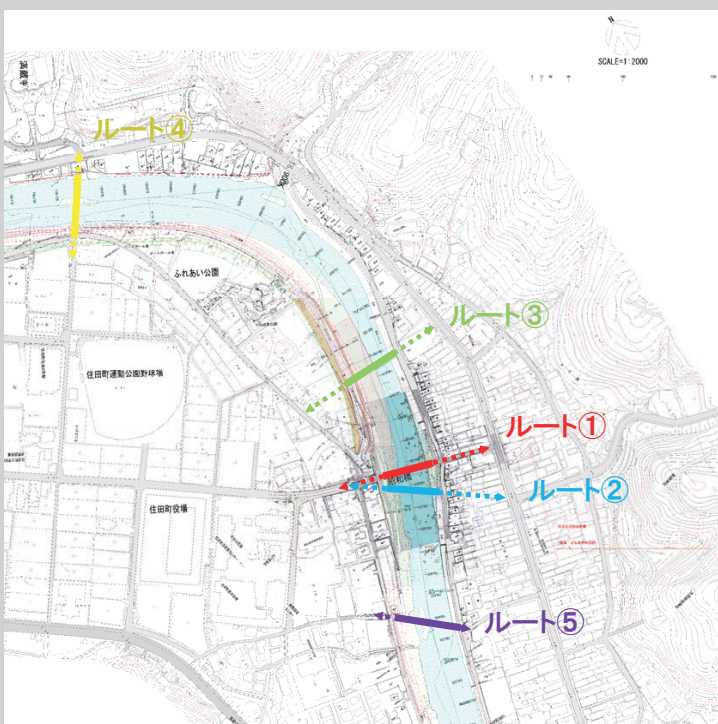
23

viii. デザインコンセプトの提案

世田米の中心にて住田町の歴史と文化を象徴し、地域とともに新たな歴史を育む橋

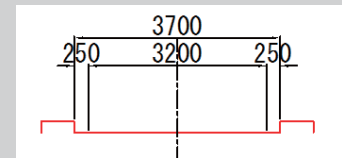
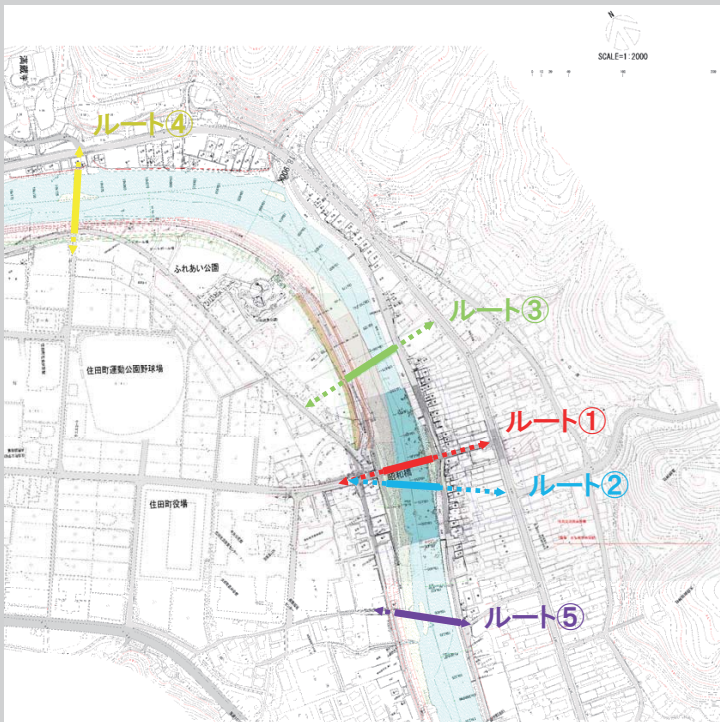


4. 架橋位置と幅員構成



幅員構成イメージ	概要
	現行幅員 4.2 m
	1車線 5.2 m
	1車線+歩道 7.5 m
	2車線 8.2 m
	2車線+歩道 10.5 m

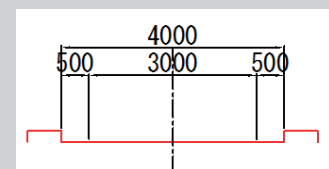
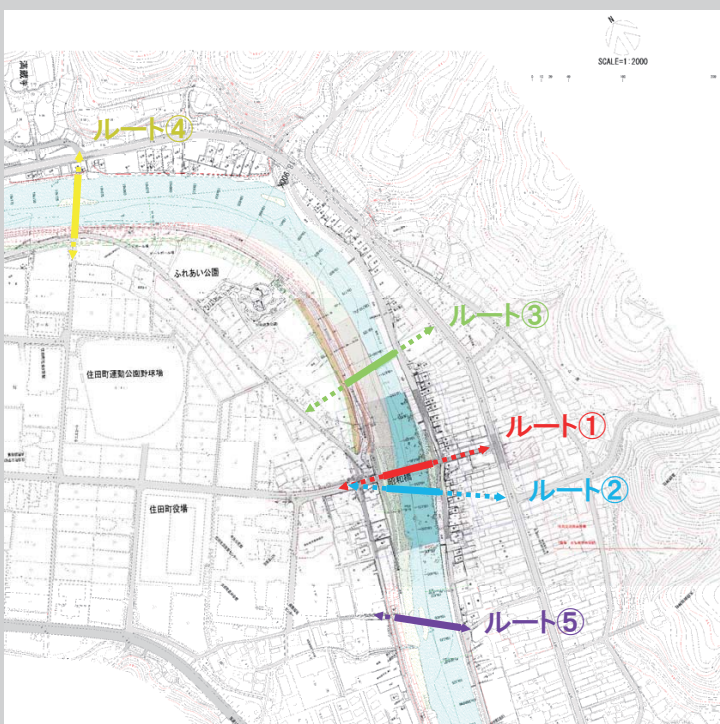
幅員構成



現行幅員

- ・現行が抱える問題はそのまま
- ・歩行者の安全確保は不十分
- ・(車の)利便性も不十分

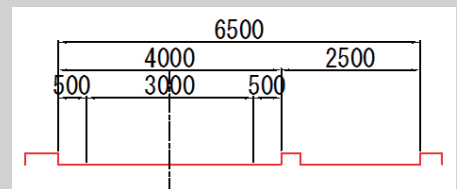
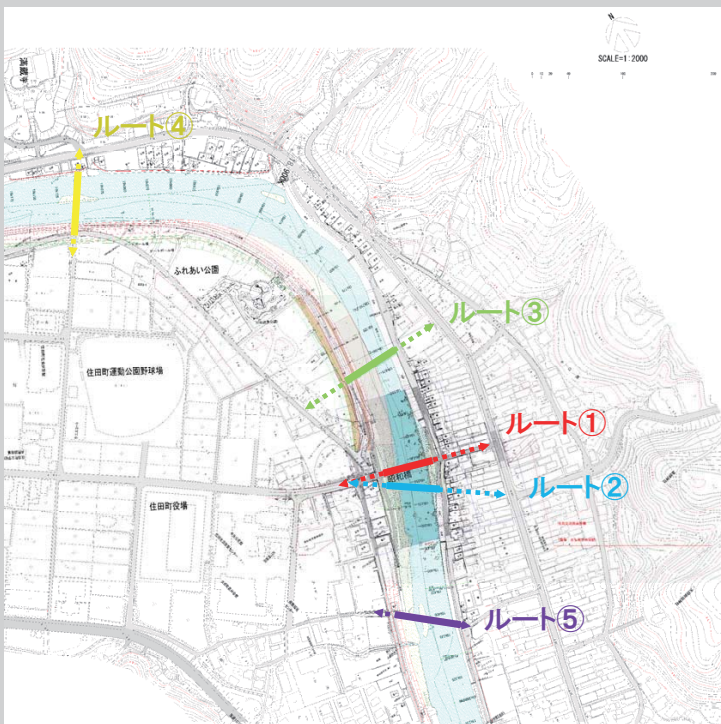
幅員構成



1車線

- ・現行が抱える問題はそのまま
- ・歩行者の安全確保は不十分

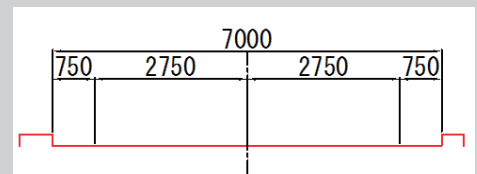
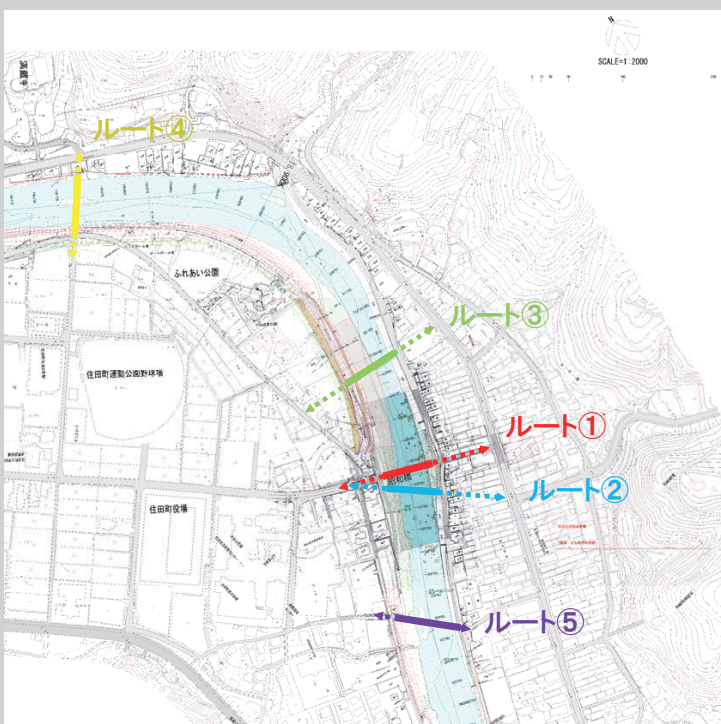
幅員構成



1車線+歩道

- ・歩行者の安全確保
- ・利便性は現況と同等程度
- ・(ルート①はそれ以外のルートに比べ)補償費等が抑えられる

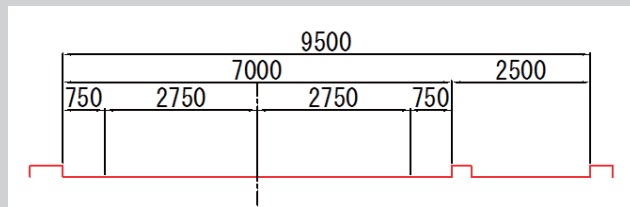
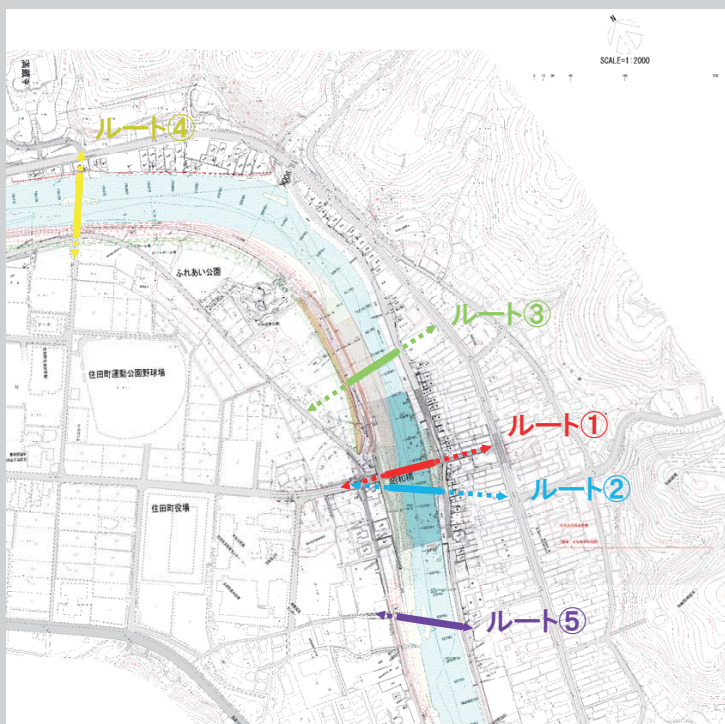
幅員構成



2車線

- ・歩行者の安全確保は十分とは言えない
- ・利便性は現況と同等以上
- ・補償費等の大幅な増大

幅員構成



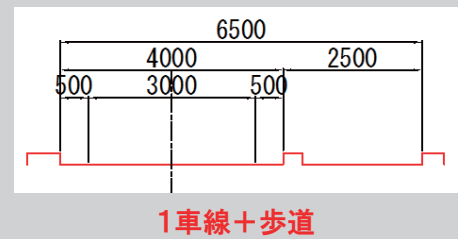
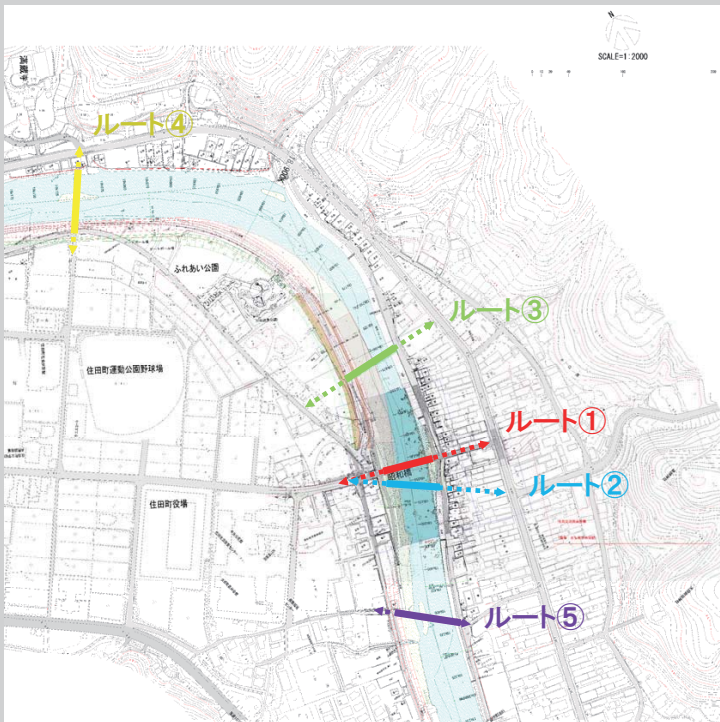
2車線+歩道

- ・歩行者の安全確保
- ・利便性は現況と同等以上
- ・補償費等の大幅な増大

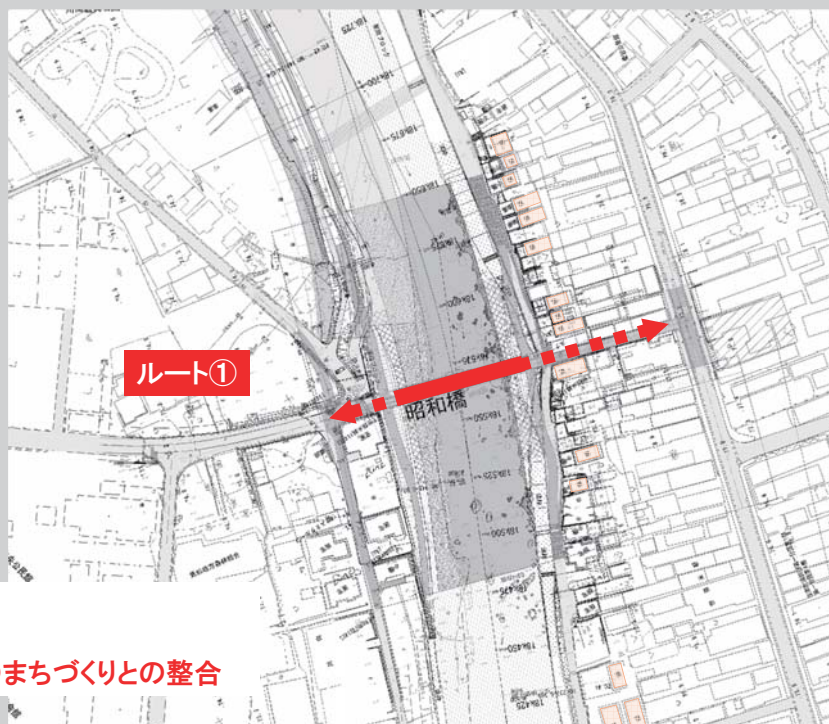
幅員構成の比較表

	現行幅員	現行幅員 (歩道専用)	1車線	1車線+歩道	2車線	2車線+歩道
断面図						
利便性	△	△	△	○	○	◎
安全性	○	○	○	◎	△	○
景観性	○	○	○	○	○	△
経済性	◎	◎	◎	○	△	△

4. 架橋位置と幅員構成

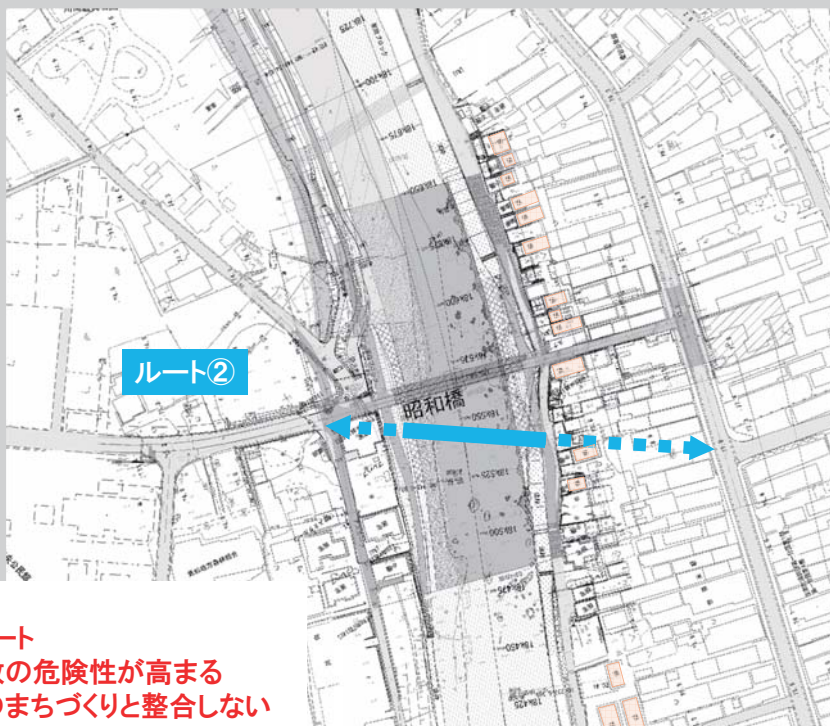


架橋位置



- ・家屋3軒、蔵0軒に影響
- ・最も許容しやすいルート
- ・歴史的、まち並み保存のまちづくりとの整合

架橋位置



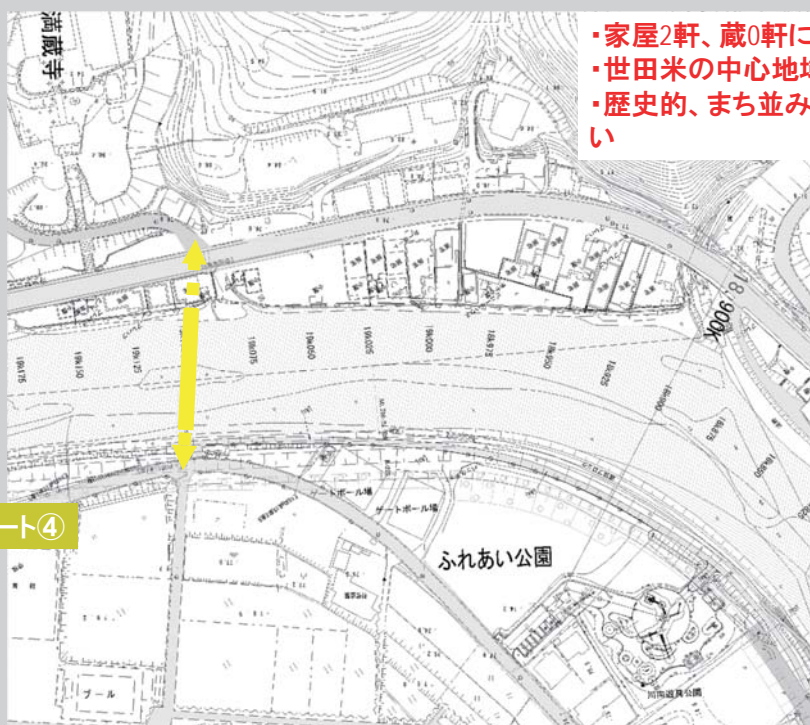
- ・家屋8軒、蔵1軒に影響
- ・よりアクセスしやすいルート
- ・十字路ができ、交通事故の危険性が高まる
- ・歴史的、まち並み保存のまちづくりと整合しない

架橋位置



- ・家屋1軒、蔵0軒に影響
- ・世田米の中心地域からはずれたルート
- ・歴史的、まち並み保存のまちづくりと整合しない

架橋位置



- ・家屋2軒、蔵0軒に影響
- ・世田米の中心地域から大きくはずれたルート
- ・歴史的、まち並み保存のまちづくりと整合しない

ルート④

架橋位置



- ・家屋1軒、蔵0軒に影響
- ・世田米の中心地域からはずれたルート
- ・歴史的、まち並み保存のまちづくりと整合しない

ルート⑤

架橋位置の比較表

	ルート①	ルート②	ルート③	ルート④	ルート⑤
架橋位置	現行ルート	小枝坂(駅日向)ルート	旧JR世田米駅駐 車場からのルート	川向3号線への ルート	現行より下流側に 架け替えるルート
利便性	◎	◎	○	△	△
安全性	○	△	○	○	○
沿道影響	○	△	○	◎	○
景観性	◎	△	△	△	△
経済性	○	△	○	△	△

4. 架橋位置と幅員構成

